

新年のご挨拶



医療法人社団 らぼーる新潟
ゆきよしクリニック
（通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問看護）
楽いちデイサービス
ショートステイ・ゆきよし とやの
ゆきよし訪問看護ステーション
ケアプラン ゆきよし
社会福祉法人 豊潤舎
特別養護老人ホーム
新潟県障害者リハビリテーションセンター
理事長 荻荘則幸

新年あけましておめでとうございます。

2020年、令和2年の始まりです。今年はオリンピック、パラリンピックが国内で開催されるオリンピックイヤーです。私は世界最大のお祭りだと思っています。今から日本人選手の活躍が楽しみです。

今年の新潟は雪も少なく、穏やかな日和が続いております。

ゆきよしクリニックは開設から24年めを迎え、私が理事長を務める法人の中で、一番、新しく開設した特別養護老人ホーム 昴も10年めを迎えます。医療、介護をめぐる情勢は、今後ますます厳しくなることが予想されています。

現在日本は、人口減少、高齢社会を迎えいろいろな改革を国は模索しております。

働き手が少なくなるという現実一般企業の退職年齢を75歳にするとか？年金の受給年齢をどんどん上げるとか、働き手に外国から来てもらうとか、ロボットを多用するとか、様々な施策が出されています。

しかし高齢者の独居の問題、老々介護や、日本中にあふれてきている空き家問題、身近な町の商店街がシャッター通りへ変わっていく淋しい現実に対してなかなか決め手が見つかりません。

そこで立ち止まって以前の日本について考えてみますと、日本人は現在、男女ともに世界に誇る長寿社会です。この基礎を作ってきたのは医学、保健の発展と進歩はもちろんですが、地域の皆様の共助、また家族の絆、本人の努力の自助の精神と助け合いの文化にあると思います。

もう一度、今後どんどん人口が減少して国力も下がると予想されている日本をもっと住みよい国にするために子孫に残さなければいけない、大切なものは、スマホばかり見ているのではなく、周りの人々にももっと目を向け、ほかの動物には真似ができない他人に対する共感と思いやりの精神だと思います。

この精神を肝に銘じて、今年も誠心誠意頑張っていく所存です。

皆々様にとっても素晴らしい一年であることを祈願しております。